

接合金物見えず大樹の雰囲気

木陰のような安らぎ空間

SMB建材

HR工法」が、14日にリニューアルオープンしたばかりの札幌競馬場ターフパーク(馬場内遊園地)に採用された。

同競馬場は昨秋から、コース内側の馬場内エリアのリニューアル工事を開始。サミットHR工法は「ホースリンク」(延べ床面積24・84平方メートル)「はるにれドーム」(同243平方メートル)「パピリオン」(同162平方メートル)「エルムテラス」(同162平方メートル)「クイーンズテラス」(同129・6平方メートル)の5棟に用いられ、子どもから大人まで楽しめ、馬と触れ合える場を演出する。設計は松田平田設計、施工は安藤・間。

SMB建材(東京都、角柄明彦社長)が開発する木質2方向ラミネート構造「サミットHR工法」が乗



接合部が見えず、幕屋根の接合もボルト接合に比べ安定感が増す(はるにれドーム)



木のぬくもりに包まれながら、競走馬を観戦できる(クイーンズテラス)

これにより、下から天井を見上げた時に、木質部材の接合部だけでなく、幕屋根の接合部も見えず、木質感あふれる意匠的な空間を実現した。

つくりわけの構造の木造平屋。木け、日射を優しく遮り造る構造には、道産カラナながら、木のぬくもり松構造用集成材を5棟あふれるエルムテラス、クイーンズテラス、パピリオンから見る競馬は庄巻用した。

サミットHR工法は、構造用集成材やLVLなどのエンジニアードウッドに貫通させた鉄筋を、エポキシ樹脂で固定することで2方向ラーメンの剛接合とする。接合金物が露出せず、武骨な金物で木のぬくもりが損なわれることがない。

こうした特徴を生かして、馬場内の日差しを避ける日陰スペースの役割を果たすはるにれドーム、パピリオン、エルムテラス、クイーンズテラスでは、金物が見えず、木陰のような空間を演出する。

さらに、はるにれドーム、エルムテラス、クイーンズテラスに使われた太陽工業の幕屋根では、取り付け用金物をサミットHR工法と木造躯体を利用した鉄筋接合とした。

ホースリンクは、馬車試乗会や体験乗馬が楽しめるスペースに。木造駅舎の趣の乗降場となり、馬との触れ合いを体験する場となる。